

Nature
Makes You
Neutral

東京の諸島の自然豊かなワークプレイス

Izu-Oshima Co-Working Lab WELAGO は、東京から120km
島の伊豆大島に位置する自然豊かな島「伊豆大島」に隣接するワー
キングスペースです。

伊豆大島は富士噴火伊豆国立公園に属し、島の約97%が自然公園
法によって保護されているため、自然環境と生態系が十分に保護
された自然豊かな島です。島内も火山活動を続ける火山島で、
1913年には日本シヤバートに認定されました。

そんな自然豊かな島に暮らす東京の島「伊豆大島」を舞台に、東
京が持つ「世界的な都市部」と「自然豊かな島嶼部」を融合した
島々への創造的な挑戦を通して「コミュニティ」を創出しま
す。

都市と地方が共存する社会を創っていくことで、多くの人々のス
マイルな未来を創っています。

Izu-Oshima Co-Working Lab WELAGO



Work【働く】

多様な働き方を実践



archipelAGO【多島海域】

伊豆大島、そして東京諸島がフィールド

シーンに合わせて
WELAGOが提供するワーキングスペースは大きく2つのスペー
スに分かれます。

現場直前から見ての手の届く距離「MIGITE」はWELAGOの
現場を体験し、印象的なアートが壁一面に展示された実験され
た島育みの前を垣間見ることができ、リラックスして仕事が行え
るスペースとなっています。

一方、左手「HIDARITE」の部屋はWELAGOを知らず
利用客を迎える受付カウンターを設け、職員やボランティアの親切
利用客のサポートをいたします。また、都市部とのコミュニケー
ションを促進する「tonari」や、信頼性の高い付帯設備を整えるなど、
フレキシブルな空間利用が可能です。

さらに、遠く島の端りなど自然を満喫する外スペース「島嶼
SHIBAFU」には天然の美しい日やイベントに合わせてキャンプ
エリアを設置することで、開放的な自然環境の中でミーティング
や作業を行うことも可能です。



スペースレンタルについて

Izu-Oshima Co-Working Lab WELAGO
では、「MIGITE」及び「SHIBAFU」スペー
スに限り、事前予約制のスペースレンタル
を行っております。詳しくは、下記QRコ
ドよりご確認ください。

詳しくはこちら

tokyo-welago.com/space/rental/



Izu-Oshima Co-Working Lab WELAGO(ウェラゴ)は、
株式会社フロンティアコンサルティングが、東京・伊
豆大島に開設したサテライトオフィス兼ワーキング
スペースです。

どなたでも利用できる地域に開かれたワークスペース
として運営しており、自然に囲まれた立地と多様な働
き方を生み出す環境は、都市部からの企業合宿やワー
ケーション利用にも適しています。

また、ワークショップなどのプログラム提供以外に
も、地域の交流や営みの場として活用されており、官
民の連携によって島内外さまざまな人々が訪れる場と
なっております。

Website: tokyo-welago.com

[tokyo.welago](https://www.instagram.com/tokyo_welago)

施設概要

Izu-Oshima Co-Working Lab WELAGO (ウェラゴ)

◎サテライトオフィス

自社社員のテレワーク、ワーケーションの利用。多様な働き方の推奨

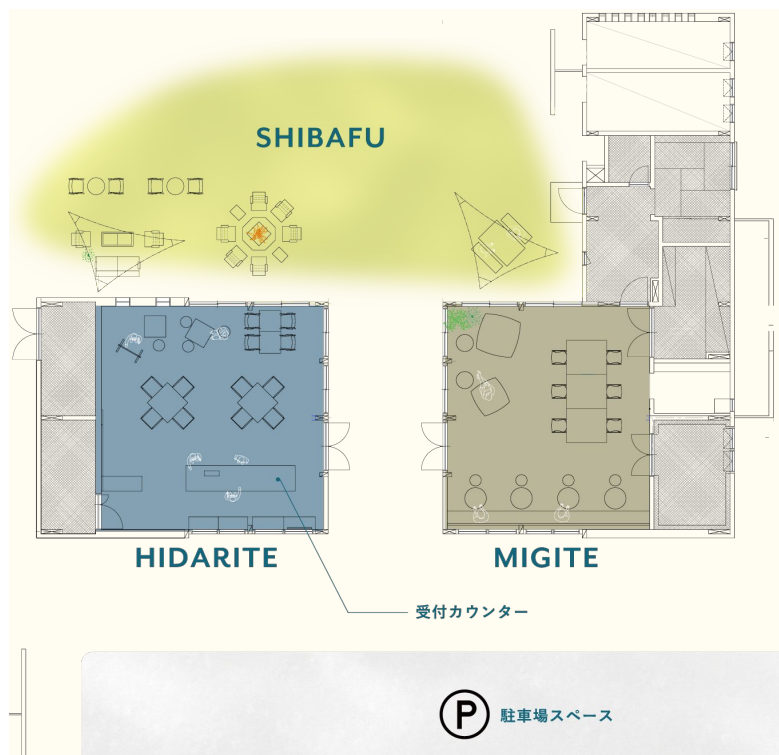
◎コワーキングスペース運営

地域内外を問わず、誰でも使えるコワーキングスペースとして無料開放

- 所在地 : 東京都大島町元町字下高洞669-2
利用時間 : 09:00 - 18:00
定休日 : 土日祝、年末年始など
料金 : 無料 (専用アプリ登録のみ/予約不要)
席数 : 24席
貸切利用 : 一部スペース可 (事前予約 / 利用者登録)



大島椿公園内の施設を大島町より借り受け、リノベーション。シーンに合わせて使える2つの部屋と屋外エリアをご用意しています。



01 関係人口の創出

Vector Design Lab - 地域への理解を深め、新たな居場所を創るプログラム -

これまで『都市と地方の共存社会』をテーマにしたワークショップを定期開催してきました。これらの知見を集約し、地域と関わりを持ちたい方を対象にした全3回のプログラムを今秋よりスタートします。

san-bashi - 東京諸島好きが集まる交流会 -

東京の島に関心のある方々が気軽に集まり、情報交換できるミートアップイベント。船と島をつなぐ「棧橋」のように「知りたい人」と「伝えたい人」をつなぐ場を大手町と大島で定期開催しています。

02 学びの提供

くるさと

大島の小中学生に様々な仕事を知ってもらい子供たちの未来の可能性を広げるためのプログラムです。島外からユニークなゲスト講師をお呼びして、みんなで学び合います。

武蔵野美術大学との共同研究

同校 造形構想学部 クリエイティブイノベーション学科とのデザインプロジェクト。2023年度は「ワーケーション」、2024年度は「ネイチャーポジティブ」をテーマに学生たちと共に実施しています。

03 地域との交流

風と鳥がくれたマルシェ

大島で活動する事業者のほか、島外のゲスト出店者もお呼びするマーケットイベント。風と鳥が種を運び、島の自然豊かになったように、島民の皆さんが新たな種（好奇心）が育つ機会を提供します。

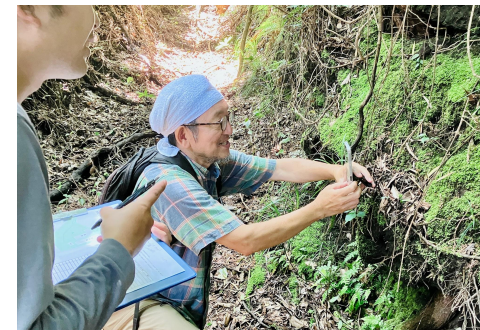


04 自然資源の活用

生き物観察会 (有識者・島民との植生モニタリング)

生物多様性のための敷地内植生の保全活動

自然共生サイト (今年度認定へ向け準備中)



05 その他 (外部事業者との連携/協力/受け入れ)

伊豆大島アンコ文化保存会 -地域文化の継承-

TOKYO ISLAND HOOD with STARTUPS (東京都事業)

東京多摩島しょ暮らし体験ツアー (東京都事業)

『REGENERATIVE—未来へつなぐ旅の兆し』(公益財団法人東京観光財団)

Work in Local × Social (社会福祉法人武蔵野会)





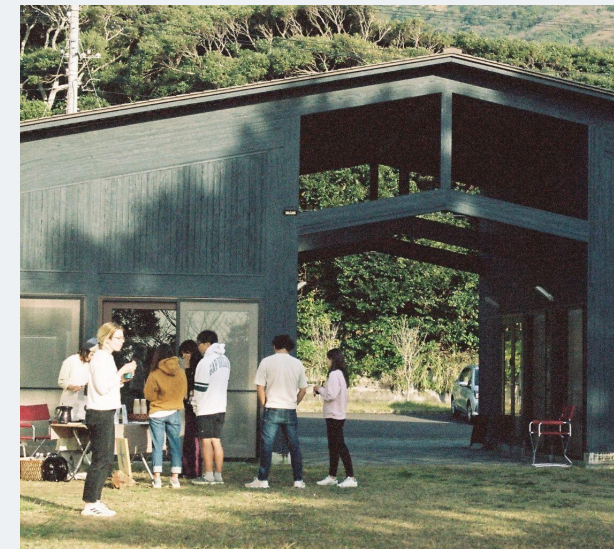
スタートアップの オフサイト合宿として 最適な環境

後尾 志郎 さん
tonari株式会社 ファイナンス・総務責任者

都心から船ですぐ行ける伊豆大島で、大自然に囲まれながらこんなにクリエイティブな施設があることに驚きました。電源、デスクやモバイルバッテリーの貸出まであり、施設としても使い勝手が良かったです。芝生でPC作業を楽しみ、また普段と異なる環境は集中力を高められ、メンバーと有意義な議論ができました。今後は東京と常時接続されている環境を活用し、島ならではのイベントなどを実施すれば、大島の関係人口を増やす仕組みになり得ると感じました。



芝生エリアを使い、経営層も交えたオフサイトミーティングを実施。



WELAGOは島の活性化に 繋がる「知的対流拠点」

松岡 宏明
弊社デザイン部 / ワークショップデザイナー

私はWELAGOをサテライトオフィスとして利用するほか、「都市と地方の共存社会」に基づき、毎回異なるテーマのアイデア創発型ワークショップを企画・実施しています。ワークショップでは、参加者がアイデアを深めながら交流し、熱量を帯びた活動のうねりが起きていることを企画者として実感します。

私たちの活動を継続することで、WELAGOが「知的対流拠点」として機能し、伊豆大島の活性化に繋がっていくと信じています。



【くるさと】島外のような職の方を講師に迎えた職業探究プログラム



これまでに弊社社員150名以上がWELAGOを訪れ、ワーケーションを体験。



WELAGOは新たな 閃きが生まれる場所

安里 太樹 さん
武蔵野美術大学 造形構想学部
クリエイティブイノベーション学科 4年

島のコミュニティや自然共生についての研究活動のため、定期的にWELAGOを訪れています。Wi-Fiや電源といったワーク環境が整っていることも魅力ですが、それ以上に利用者やスタッフの方との交流から、研究の新しい気づきが生まれることが大きいですね。印象的だったのは、島に移住したばかりの方がWELAGOで島の方々と新しい関わりが生まれたとお聞きしたことです。これからもWELAGOを起点に様々な島の横顔を覗ければと思っています。



2023年度の共同研究で発表した安里さんのプラン。



今年は生物多様性をテーマに、学生や助教含め20名以上が参加。



利用者とのちょっとした交流が 創作活動の大きな支え

高村 光璃さん
クリエイター

小中高と大島で育ち、今年から漫画家を目指して地元・伊豆大島へ帰り、創作活動をしています。WELAGOは制作中の原稿作業でよく利用しています。孤独な制作活動ですが、スタッフの方や顔見知りの利用者さんに「漫画出来た〜？」と声をかけて頂いたり人との関わりが創作活動の大きな支えになっています。

そして現在、施設内にある集中作業用の和室スペースに『大島』をテーマにした壁画漫画をスタッフの方からご依頼頂き、誠意制作中です。まもなく完成しますので、ぜひWELAGOへいらっしゃった際は、ぜひご覧ください！



移住者も島民も行き交うコミュニティが WELAGOにはある

久保木 亮太さん / 一級建築士、三日月アーキテツク代表
調 彩乃さん / 会社員

月の半分以上は大島に滞在し、WELAGOはオープン時からよく利用しています。大島にはDIY精神のあるプレイヤーが多く、刺激を受けることが多いです。

2人ともアドレスホッパーとして国内の様々な場所で過ごしましたが、大島は都心部からのアクセスの良さに加えて、島ならではのゆったりとした生活が楽しめることに魅力を感じ、都心部との二拠点生活を始めました。また移住者も島の人も混ざり合うコミュニティ機能が生まれているWELAGOのような場所があったことも、移住きっかけの一つです。

テレワーク・
ワーケーションでの
施設利用者

地方創生の連携先


法人/団体利用

- 島内企業
- 島外企業
- 非営利法人
- パートナー企業
- 島の活動団体


個人利用

- 移住者
- 地域住民
- 観光客
- 島外ワーカー
- 島内ワーカー
- 学生



企画・運営

FRONTIER
CONSULTING

(株) フロンティアコンサルティング

連携/協力

協業パートナー




産

- 島外の企業
- 地域事業者
- 非営利法人


官

- 地方公共団体 (大島町、東京都)
- 公的団体 (商工会など)


学

- 島の小学校
- 島の高校
- 島の中学校
- 大学
- 研究者